

第5回スポ天チーム対抗ゴルフ大会

ゴルフクイズ質問と回答

① 自分が打ったボールがカートに当たった場合1打罰になる

答え×

2018年までは1罰打でしたが、2019年の規則改定により無罰となりました。動いている球が偶然に人や外的影響に当たった場合、どのプレーヤーにも罰はない。動いているプレーヤーの球が偶然に人(プレーヤーを含む)や外的影響に当たった場合・どのプレーヤーにも罰はない。このことは、球がプレーヤー、またはそのキャディーや用具に当たった場合でも同じである。

② ボールの近くにある小石は動かしてはいけない

答え×

小石はルースインペディメントのため、コース上やコース外のどこでも罰なしに取り除くことができます。ただし、ルースインペディメントを取り除いたことがボールを動かす原因となった場合、プレーヤーは1罰打を受けます。

③ 最初のホールでレギュラーティーを使用し、その後レディースティーで打ってはいけない。

答え○

最初に使用したティーと同色でないといけない。プレーヤーは規則6.2bに基づいてティーイングエリアから球をプレーすることによって各ホールをスタートしなければならない。ホールをスタートするプレーヤーがティーイングエリアの外(同じホールや別のホールの異なるティーイング場所にある間違ったティーマーカーからプレーした場合を含む)からプレーした場合、
(1)マッチプレー。罰はない。しかし、相手はそのストロークを取り消すことができる(2)ストロークプレー。プレーヤーは一般の罰(2罰打)を受け、ティーイングエリアから球をプレーすることによってその誤りを訂正しなければならない

④

自分のボールを探している人が、偶然他プレーヤーのボールを蹴ってしまった場合、罰則は無し

答え○

「自分の球の搜索中に、偶然他のプレーヤーの球を蹴ってしまった」ということであれば、球を蹴られた人の立場だと、R9.6が適用されます。

R9.6 外的影響が拾い上げた、動かした球

外的影響(ストロークプレーの別のプレーヤーや別の球を含む)がプレーヤーの止まっている球を拾い上げたり、動かしたことが「分かっている、または事実上確実」な場合は、罰はない。その球を元の箇所にリプレイスしなければならない

⑤

雪が付着したボールは、コース上のどこでも雪を取り除くことができる

答え×

球のある場所が雪の中であれば、「異常なコース状態」(一時的な水)として、球を拭いて、ドロップして救済を受けることができますが、「雪が付着した球」が雪のない地面の上(ジェネラルエリアやバンカーの雪のない場所)にあった場合は、ルースインペディメントとして取り除くことはできません。

⑥

池に入ったボールも、池の水が乾いてそのまま打てる場合は罰則無しでプレーすることができる

答え○

R17.1b プレーヤーはペナルティーエリアから球をあるがままにプレーするか、または罰ありの救済を受けることができる。プレーヤーは次のいずれかを行うことができる。ジェネラルエリアにある球に適用する同じ規則に基づいて罰なしに球をあるがままにプレーする(つまりペナルティーエリアから球をどのようにプレーできるかを制限する特定の規則はない)。

⑦

ボールマーカーを忘れた場合、落ちている花をボールマーカーとして使用してもよい

答え×

ボールマーカーは人工物(例えば、ティー、コイン、ボールマーカーとして作られた物や別の小さい用具)と明記されているため、自然物でマークすることはできません。